

目指す姿・実現事項

【目指す姿】
「スマート市役所」の実現
～手続きや業務がデジタル化された市役所へ～

【実現事項】

☞ 多様なライフスタイルに対応した行政サービス提供

- 行政手続のオンライン化
- マイナンバーカードの普及と利活用促進
- キャッシュレス決済の導入
- デジタルデバイドの対策

☞ 行政運営の効率化

- 情報システムの標準化・共通化
- AI等情報技術の活用
- 市役所内部のデジタル化と情報セキュリティの確保
- 個人情報の適正な取扱い

改定趣旨

- ☞ 2040年頃の高齢者人口ピークによる人口減少に係る人的物的資源の制約に対する持続可能な自治体経営の実現
- ☞ 新型コロナウイルス感染症を契機とした新たな日常への対応
- ☞ 国のデジタル施策に合わせた本市デジタル施策の推進

位置づけ・推進体制

- ☞ 第6次豊川市総合計画及び豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略との整合、連携を図り、新たな日常に向けた強靱な地域の構築を情報技術の活用により推進
- ☞ 最高情報統括責任者（CIO：副市長）を中心とする豊川市情報政策推進本部において方針の推進及び進捗管理。必要に応じ専門部会を設置し専門的な調査研究、審査

【実現事項】 ～目指す姿：「スマート市役所」の実現に向けて～

多様なライフスタイル
に対応した
行政サービス提供

- **行政手続のオンライン化**
マイナポータルぴったりサービス、あいち電子申請・届出システム、その他オンラインシステムを利用した行政手続のオンライン化を推進し、3ない窓口（書かせない・待たせない・来させない）環境の構築を推進する。
- **マイナンバーカードの普及と利活用促進**
市民のマイナンバーカード取得のための環境整備を推進するとともに、マイナンバーカードの本人確認機能によるオンライン手続を増やすなど、マイナンバーカードの利活用に寄与する環境整備も推進する。
- **キャッシュレス決済の導入**
接触機会の低減や支払の利便性を向上させるため、公金等の収納手段としてキャッシュレス決済サービスを導入する。
- **デジタルデバイドの対策**
デジタル技術の利活用により、全ての市民がデジタル化の恩恵を等しく享受できる環境を構築していくため、スマホ教室等のデジタルサポートの機会の提供や、オンライン化等に当たって、より利用者目線に立った容易に操作できる設計とする。

行政運営の効率化

- **情報システムの標準化・共通化**
令和3年9月施行の地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度までに標準化仕様に適合した住民情報システムに改修する。
- **AI等情報技術の活用**
AIチャットボット、AI-OCR、RPA等のAI技術を導入、活用し、市民サービスの向上と業務効率化（BPR）を推進する。また、新たなAI等情報技術についても情報収集に努め、検証、導入を積極的に推進する。

行政運営の効率化

●市役所内部のデジタル化と情報セキュリティの確保

・Web会議・テレワーク環境の整備及び利活用推進

新型コロナウイルス感染症対策、移動時間の削減や移動手段のコスト削減等、行政業務の効率化に大いに貢献するWeb会議環境の整備を推進する。一人ひとりのライフワークを尊重した多様な働き方を提供できる「働き方改革」の実践に資するテレワーク環境の整備を推進する。

・業務効率化を実現する仮想基盤システムへの更新

インターネット接続の重要性がさらに増す一方、様々な情報セキュリティ対策の技術が開発されていることから、最適な仮想基盤システムへ更新する。

・令和6年4月本稼働の行政情報システムの更新

行政内部事務のデジタル化、ペーパーレス化を一層推進させることができる行政情報システムへと更新する。

・市役所のデジタル化・業務効率化を念頭に置いたICT調達時審査

各課業務の情報システム機器購入やシステム導入が市役所のデジタル化・業務効率化に資するか、情報セキュリティは確保されているか、財政負担の最適化が図られているか等について審査、助言する。

・市役所のデジタル化のための組織体制構築と職員の情報リテラシーの向上

市役所のデジタル化のための総合調整及び情報政策立案を強化した組織体制を構築する。また、デジタルスキルを持った職員採用と合わせ、職員のデジタル化に係る意識醸成・デジタルスキル習得に係る研修の機会を通して、職員の情報リテラシーを向上させる。

●個人情報の適正な取扱い

改正個人情報保護法による共通ルール、運用のガイドラインを遵守し、厳格な個人情報保護と適正かつ円滑なデータ流通の両立を実現する。